



平成20年度 長和町当初予算総括表

(単位：千円、%)

会計名	20年度	19年度	比較増減	増減率
1 一般会計	5,130,000 (対前年比6.9%増)	4,800,000	330,000	6.9
2 国民健康保険会計	729,047	688,800	40,247	5.8
3 老人保健会計	159,464	951,348	△ 791,884	△ 83.2
4 住宅資金等貸付会計	5,063	5,306	△ 243	△ 4.6
5 水道会計	620,000	402,000	218,000	54.2
6 特環下水道事業会計	645,000	637,000	8,000	1.3
7 簡易排水施設会計	13,900	11,300	2,600	23.0
8 農業集落排水事業会計	130,000	147,200	△ 17,200	△ 11.7
9 観光施設事業会計	140,000	135,000	5,000	3.7
10 国保歯科診療所会計	25,560	31,824	△ 6,264	△ 19.7
11 介護保険会計	739,221	775,491	△ 36,270	△ 4.7
12 後期高齢者医療会計	58,501	0	58,501	皆増
▲ 地域振興会計	0	23,461	△ 23,461	皆減
▲ ケーブルテレビ施設会計	0	124,559	△ 124,559	皆減
特別会計小計	3,265,756 (対前年比△17.0%)	3,933,289	△ 667,533	△ 17.0
総合計	8,395,756 (対前年比△3.9%)	8,733,289	△ 337,533	△ 3.9

平成20年度長和町一般会計予算

1 概要

平成20年度長和町一般会計当初予算案を総額51億3千万円とし、平成19年度当初予算と比較し金額にして3億3千万円、率にして6.9%の増となりました。この増額の主な要因は、長和町新町一体感醸成基金造成に2億円を計上したこと、及びケーブルテレビ運営関係経費を特別会計から一般会計へ移行したことによるもので、この影響を除く実質では0.8%増に止まり、一般財源ベースでは前年度当初費で△1.4%と前年度に引き続き緊縮型予算としました。

なお、新町一体感醸成基金については、市町村合併に対する財政支援のうち、合併市町村の振興のための基金造成に対し、市町村合併特例事業として位置づけ、この基金の積立てに対し合併特例債を充当（95%）できるもので、この元利償還金の70%を普通交付税で措置されるものです。

さて、わが国の景気は、米国の信用力が低い人向け住宅ローン（サブプライムローン）問題による世界的な市場混乱や、原油、素材の高騰が国内景気に悪影響を与え始めたとみられ、2002年から拡大が続いてきた景気の先行きに不透明感が強まり、農山村地域を取り巻く環境は、前年度に増して厳しい状況に置かれています。

このような状況下において、当町では、合併して3年目を迎えるなか、中長期的視野に立ち、合併の検証と行財政改革の一層の推進をはかり、以って財政運営の健全化に務め、新たな「長和町」の創造に向けて道筋をつける重要な年と位置づけ、これまで進めてきている住民主体の取り組みを継承しながら、住民の更なる一体感の醸成につながるよう創意工夫するものとししました。

歳入につきましては、固定資産税の増額に伴い町税全般では微増となりました。歳入の半分ほどを占める地方交付税は、2008年度地方財政計画で、地方税の偏在是正により生じる財源を活用し、地方が自主的・主体的に取り組む活性化対策として、地方交付税の算定を通じ、市町村、特に財政状況が厳しい地域に重点配分される「地方再生対策費」の特別枠が創設されたことも含め、地方交付税総額で1.3%の増額が示されましたが、個別算定経費、包括算定経費の減少など減額要素を相殺して、前年度と同額の23億円を計上しました。しかしながら、合併に伴い3年間交付されてきました特別交付税も平成19年度をもって終了となりますので、特別交付税で1億円の減額の1億2千万円を見込みました。

歳出につきましては、合併3周年記念式典、県の合併交付金を財源とする町民憲章等の制定事業、国の合併補助金事業として進める長和町全体の地形図整備事業、住民の一体感醸成のための事業に要する経費を積み立てる長和町新町一体感醸成基金への積み立て、前年度から進めています合併特例債を活用したまちづくり交付金事業、町民参画の推進事業である町民手づくり事業の継続、教育施設の耐震補強工事などを重点に編成するとともに福祉、保健、医療や教育が滞ることがないように配慮した予算としました。

しかし、歳入の減収分を財政調整基金及び減債基金からの繰入金で補うもので、前年度以上に厳しい財政状況となっています。また、地方公共団体財政健全化法による財政指標の公表が平成19年度決算から、「財政健全化計画」の策定の義務付けが平成20年度決算から適用されることを踏まえ、将来に向け安定的な財政運営を確保できるよう一層の改革を進めていかなければならないと考えます。

2 歳入

(1) 町税 7億6371万8千円（前年度7億5191万4千円：1180万4千円・・1.6%の増）

町民税では、前年度の実績及び三位一体の改革の一環として実施された所得税から個人住民税（国から地方）への税源移譲によって生じる住宅ローン控除分の減少により、前年度に比べ835万円の減収（対前年比△4.2%）の2億4746万円を見込みました。

また、固定資産税は中部電力等の大規模償却資産課税標準の特例控除が適用除外となったことに伴い1910万円（対前年比4.5%）増の4億4680万円を見込みました。

(2) 地方譲与税 8245万円（前年度8250万円：5万円・・0.1%の減）

2007年度末に期限が終了する道路特定財源の特別措置の存続問題については、先行き不透明なため、現行法どおりとし、自動車重量譲与税、地方道路譲与税を合わせて、前年度に比べ5万円の減の8245万円を計上いたしました。

しかしながら、道路特定財源の暫定税率の問題は、地方財政への影響も大きく、長野県の試算によると暫定税率廃止に伴う影響額は県全体で346億400万円の減収となり、当町では5千万円ほどの減収となる見込みのため、非常に懸念される事項であります。

(3) 利子割交付金	233万円	(480万円：247万円・・51.5%の減)
(4) 配当割交付金	232万円	(175万円：57万円・・32.6%の増)
(5) 株式等譲渡所得割交付金	36万円	(60万円：24万円・・40.0%の減)
(6) 地方消費税交付金	5919万円	(6110万円：191万円・・3.1%の減)
(7) 自動車取得税交付金	2819万円	(3482万円：663万円・・19.0%の減)
(8) 地方特例交付金	302万1千円	(168万1千円：134万円・・79.7%の増)
(10) 交通安全対策特別交付金	181万8千円	(182万4千円：6千円・・0.3%の減)

※ (3)から(8)及び(10)の歳入科目については、19年度見込み額等に基づき算定いたしました。このうち、地方特例交付金につきましては、児童手当特例交付金に加え、平成20年度から適用される個人住民税における住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の実施に伴う地方公共団体の減収分を補てんするために減収補てん特例交付金が新設されました。

(9) 地方交付税 24億2千万円（前年度25億2千万円：1億円・・4.0%の減）

普通交付税では、国の2008年度地方財政計画の中において、地域間の税源偏在の是正の税体系の抜本的改革が行われるまでの間の暫定措置として、地方再生対策費を創設し、地方交付税の算定を通じて、市町村、特に財政状況の厳しい地域に重点的に配分されるもので、国全体で対前年比1.3%の増額が示されました。しかしながら、地方交付税の算定基礎となる個別算定経費及び包括算定経費の減額や、公債費等の支出の減少により、基準財政需要額の減少が見込まれるため、前年度と同額の23億円を計上しました。

特別交付税では、合併に伴い3年間交付されます特別交付税も平成19年度に交付されました1億200万円をもって終了となりましたので、その分を控除して1億2千万円を見込みました。

(11) 分担金及び負担金 5268万円（前年度5530万3千円：262万3千円・・4.7%の減）

保育料負担金（3191万円）、CATV関係負担金（491万円）、老人福祉施設入所等福祉関係負担金（1466万円）などで、前年度より262万円の減となりました。減額の要因は学者村基幹水道改良工事完了に伴う学者村道路舗装工事の減によるものです。

(12) 使用料及び手数料 1億7458万円（前年度9058万3千円：8399万7千円・・92.7%の増）

CATV運営経費を一般会計へ移行したことにより有線テレビ使用料（8328万円）が皆増となり、前年度と比較して大幅増となりました。このほか、住宅使用料（3388万円）、ごみ処理手数料（976万円）を見込みました。

(13) 国庫支出金 1億8996万円（前年度2億1983万2千円：2987万2千円・・13.6%の減）

国庫補助対象事業として、障害者、高齢者、児童等に係る民生費関係事業及び前年度からの継続事業であるまちづくり交付金事業（1億320万円）、国の合併補助金事業である地形図整備事業（2190万円）等を見込みました。

減額の要因は、和田本陣・永代人馬施行所の屋根葺き替え等に係る記念物保存修理補助金、参議院議員選挙委託金、町道松沢線道路改良に伴う道整備交付金の減などによるものです。

(14) 県支出金 1億6590万円（前年度1億7304万1千円：714万1千円・・4.1%の減）

県費補助事業として障害者、高齢者、児童及び福祉医療に係る民生費関係事業、中山間直接支払事業等農政関係事業、松くい虫対策等林政関係事業、後期高齢者基盤安定負担金、県民税徴収事務委託金などが主なものです。

また、合併交付金事業として町民憲章等制定事業（1028万円）、林業機械購入補助（500万円）を計上しました。

(15) 財産収入 4284万6千円（前年度3779万7千円：504万9千円・・13.4%の増）

土地建物等財産収入（802万円）、物品等売払収入（565万円）が主なもので、財政調整基金他積立金利子（918万円）が増額となりました。

(16) 寄附金 3千円（同額） 科目計上のみとしました。

(17) 繰入金 3億2697万1千円（前年度2億6479万1千円：6218万円・・23.5%の増）

財政調整基金から2億1千万円（3千万円の増）、減債基金から1億円（3千万円の増）、合わせて3億1千万円（6千万円の増）を計上しました。このほか、財産区繰入金として1562万円、新たにスポーツ・文化振興基金からの繰入金（10万円）を計上しました。

(18) 繰越金 2千万円（同額）

19年度の決算見込み等から、2千万円を計上しました。

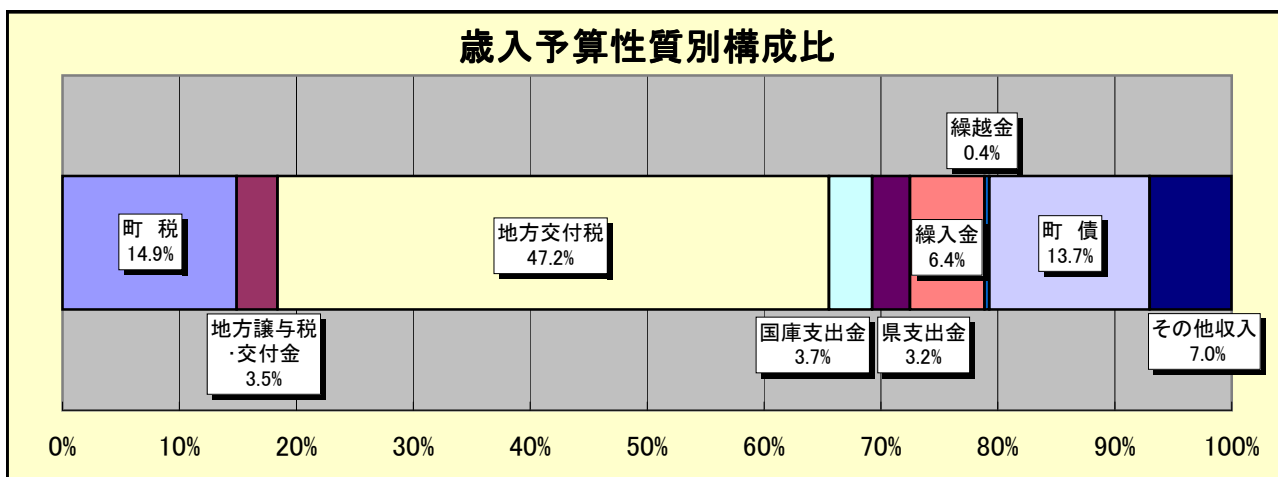
(19) 諸収入 8932万円（前年度9216万1千円：284万1千円・・3.1%の減）

福祉企業センター加工収入（1320万円）、給食費負担金（2482万円）、普通交付税中学校費配分金（1800万円）、巡回バス回数券（180万円）、コミュニティー助成事業（240万円）などを見込みました。

(20) 町債7億434万3千円（前年度3億8550万円：3億1884万3千円・・82.7%の増）

原・久保線道路改良（1億円）、消防小型動力ポンプ購入（170万円）、和田地区簡易水道改良工事分（5850万円）に充当する過疎対策債（1億6020万円）、長久保青原線道路改良（9790万円）、中村線道路改良（950万円）、情報基盤整備（1700万円）、下水道統合（5400万円）、クリーンハート和田改修事業（320万円）及び新町一体感醸成基金（1億9千万円）に伴う合併特例債（3億7160万円）、地方交付税の振替分として発行が許可される臨時財政対策債（1億7254万3千円（借り入れに対しては、国が償還元利金の全額を後年度交付税措置））の借り入れとしました。

- ◎ 本年度の歳入予算の主な構成比は、第1位が地方交付税の47.2%（前年度52.5%）で歳入総額の約半分となっています。その他、町税が14.9%（前年度15.7%）、新町一体感醸成基金への積立金1億9千万円を含めた町債の増額が大きく13.7%（前年度8.0%）、繰入金が6.4%（前年度5.5%）と続き、使用料及び手数料はCATVに係る使用料により3.4%（前年度1.9%）を占めました。



3 歳出

(1) 議会費 7261万7千円（前年度7240万6千円：21万1千円・・0.3%の増）

議会議員に係る報酬などの経費並びに職員の人件費が主なものです。

(2) 総務費 9億5295万円（前年度6億8418万9千円：2億6876万1千円・・39.3%の増）

新町一体感醸成基金積立金（2億円）、CATV運営事業（8787万円）、情報基盤施設整備事業（3000万円）、町民憲章等作成事業（1236万円）、合併3周年記念式典（350万円）、地方公営企業等金融機構設立出資金（90万円）、地区集会施設告知放送設備設置工事（53万円）、公営住宅火災報知機取付工事（98万円）等を新たに見込んだため大幅な増額となりました。このほか、公的ネットワーク委員報酬（320万円）、巡回バス運行等JR委託経費（9908万円）、財政調整基金等利子積立（917万円）、戸籍・住民基本台帳関係使用料などが主な内容です。

(3) 民生費 8億3996万5千円（前年度8億3847万6千円：148万9千円・・0.2%の増）

出生祝金、福祉医療、児童手当、配食サービス委託（1808万円）などの充実、国保（2382万円）、老人保健（1425万円）、介護保険（1億3214万円）、後期高齢者医療（2144万円）特別会計への繰出金が主なものです。

また、新たに視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業（60万円）、オストメイトトイレ対応トイレ設備緊急整備事業（50万円）、障害者余暇活動支援事業（20万円）を計上しました。

安心安全に配慮し、わかば保育園耐震補強工事（517万円）及び、わかば・大門・和田の各保育園に加配保育士を1名ずつ配置するとともに、特に、和田保育園には情緒不安定な園児を支援する支援保育士1名を新たに配置するなど行き届いた保育を実施していく予算を確保しました。

このほか、社協事務費負担金（1437万円）、老人福祉センター指定管理委託料（1171万円）、老人福祉施設整備事業負担金（1948万円）、老人福祉施設入所措置費（2577万円）などを計上しました。

(4) 衛生費 6億3490万9千円（前年度5億6105万3千円：7385万6千円・・13.2%の増）

水道会計への繰出金（8247万円：過疎債分5850万円含む）の増が主な要因です。

一部事務組合等への負担金の割合が大きく占めており、依田窪医療福祉事務組合（負担金2億2347万円・交付税配分金5512万円）、老人保健施設（2822万円）、広域斎場（603万円）、広域清浄園（3134万円）、広域クリーンセンター（5774万円）をそれぞれ計上しました。

このほか、ごみ処理手数料（859万円）、ごみ収集委託（1784万円）、生ごみ堆肥化機器購入助成（120万円）、依田窪病院健診委託（1649万円）を計上しました。

なお、妊婦・乳児健康診査事業（200万円）の充実を図るため、前年度に引き続き、5回の検診回数を継続しました。

(5) 農林水産業費 2億3962万2千円（前年度2億8140万円：4177万8千円・・14.8%の減）

減額の主な要因は、グリーン・ツーリズムパンフレット作成（△700万円）及び農業集落排水特別会計への繰出金（3993万円：△1677万円）、町有林施業（1222万円：△358万円）、森林組合機械導入助成（△380万円）の減によるものです。

中山間地域直接支払事業の継続に要する経費（2094万円）、えのき・花卉等農産物価格安定対策等への各種単独助成金（786万円）、野生鳥獣害総合対策事業（農政：165万円）、耕地応急工事（1250万円）、電源立地地域対策事業（700万円）、鳥獣被害防止（436万円）、松くい虫防除（736万円）、森林造成（1518万円）、国土調査（594万円）、U・Iターン活性化奨励金（280万円）が主なものです。

前年度に引き続き、県の合併交付金事業として森林整備促進機械購入事業（580万円）を計上しました。

(6) 商工費 1億3490万円（前年度8772万4千円：4717万6千円・・53.8%の増）

大幅な増額の要因は、国の頑張る地方応援プログラム事業として前年度から実施し、20年度においては、まちづくり交付金事業として位置づけ、引き続き実施する長久保宿野町整備舗装工事（3800万円）、ふれあいの湯源泉ポンプ入替工事（611万円）、中山道宿場会議長和町大会補助（500万円）にかかわる増によるものです。

このほか、引き続き商工資金融資預託金（2千万円）、商工会運営費助成（1160万円）、商工資金保証料・利子補給等（430万円）、地域新興住宅助成（50万円）、やすらぎの湯泉ポンプ入れ替え工事（401万円）、地域いきいき券助成事業（10万円）、住まいの安全倒壊防止対策事業（6万円）を計上しました。

(7) 土木費 6億4433万1千円（前年度5億4588万4千円：9844万7千円・・18.0%の増）
増額の主な要因は、過疎債事業として取り組む、原・久保連絡道路改良舗装工事（1億円）、国の合併補助金事業の採択を見込んだ地形図整備業務（2200万円）を新規事業として計上したことによるものです。

このほか、長久保青原線改良工事（1億7819万円）、道路の維持補修・舗装修繕（2100万円）、河川改良工事（300万円）、除雪関係費用（791万円）、公営住宅改修・修繕費用（473万円）、特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金（2億4064万円）、簡易排水施設特別会計繰出金（950万円）などが主なものです。

また、新たな事業として、昭和30年代に施工された長さ15m以上の橋梁を対象に調査する橋梁点検事業（100万円）を見込みました。

(8) 消防費 1億4612万7千円（前年度1億5946万円：1333万3千円・・8.4%の減）

減額要因は、上田広域における消防特別会計への市町村の負担金の算定方法変更により、上田広域連合消防本部負担金（1億194万円）が減額（△2120万円）となったことによるものです。

このほか、消防団運営費、消防団員に係る報酬・報償費・小型動力ポンプ購入（178万円）等を計上しました。

新たに防災対策事業として、洪水による危険箇所を住民の皆さんに周知するために洪水ハザードマップ作成事業（440万円）を計画しました。

(9) 教育費 5億345万7千円（前年度5億2991万9千円：2646万2千円・・5.0%の減）

減額の主なものは、前年度完了に伴う史跡和田宿本陣屋根改修工事（△3318万円）、史跡永代人馬施行所屋根改修（△1860万円）及び寺下集会施設建設工事（△1300万円）、濱屋周辺整備工事（△950万円）の減によるものです。

このほか、給食材料費（2482万円）南部中学校負担金（6564万円）、高校通学助成（1380万円）、公民館運営費（1936万円）、黒耀石展示・体験館運営（2879万円）、町民運動会（93万円）を計上しました。

教育施設の安全性に配慮し、和田中耐震補強工事費（3396万円）を計上し、また、年々増加傾向にある情緒不安定な児童の学校生活を支援する取り組みにより、新たに特別支援教育支援員として各小中学校へ配置する経費（458万円）を確保するなど、学校教育を強力にバックアップする予算を確保しました。

このほか、下水道の統合事業によるクリーンハート和田の処理場の活用につきましては、ふるさとアーカイブス創生事業として、この処理場の改築工事のための設計費（1150万円）を計上しました。

(10) 災害復旧費 1万円（同額） 科目計上のみとしました。

(11) 公債費 9億4832万円（前年度10億2811万円：7979万円・・7.8%の増）

減額要因は、やすらぎ温泉関連の地総債の元利償還金が終了したことに伴うもので、前年に比べて償還金総額で7779万円の減額となったことによるものです。

今後の償還状況は、合併特例事業債に係る元金の償還が平成20年度から始まりますが、償還金全体では年々漸減していく見込みです。

なお、公債費適正化計画により実質公債費比率（18.5%）につきましては、できるだけ早い段階において18%を下回れるよう一層の努力をしていきます。

(12) 諸支出金 772万円（前年度2千円：71万8千円・・35,900.0%の増）

老人保健施設「いこい」の増床計画に伴い、国有地（道水路）分を払下げを受けるための公有財産購入費（71万9千円）を計上しました。

(13) 予備費 1207万2千円（前年度1136万7千円：70万5千円・・・6.2%の増）
予備費として、1207万2千円を見込みました。

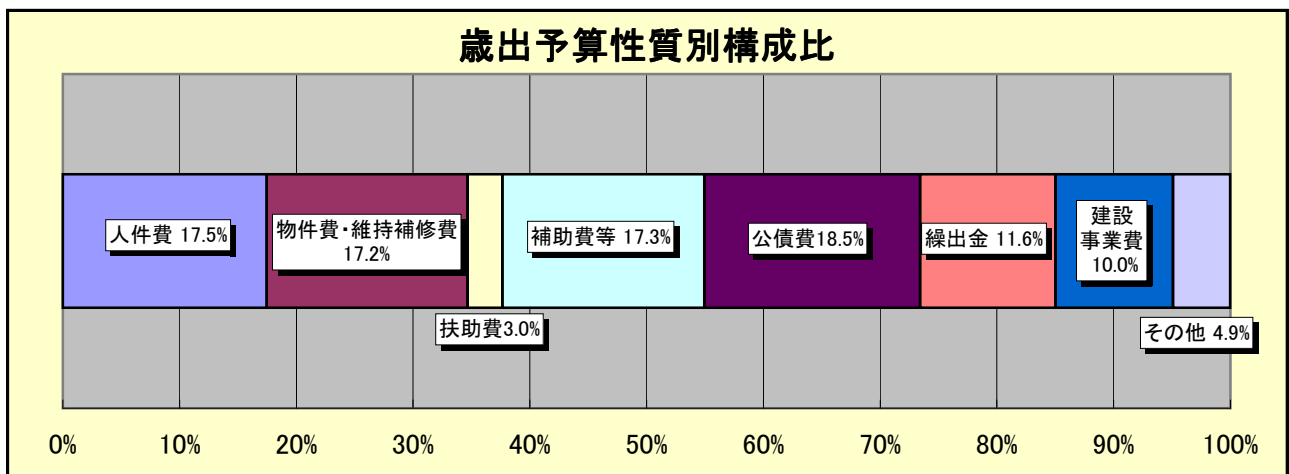
4 歳出（性質別）

性質別経費で見ると、人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等、公債費の広い意味でのいわゆる義務的経費は、37億6718万円で全体の73.4%を占めますが、前年度（37億3643万円）に比べおよそ3075万円の増加となっています。これは、CATV運営経費が一般会計へ移行したことの影響によるものと思われます。

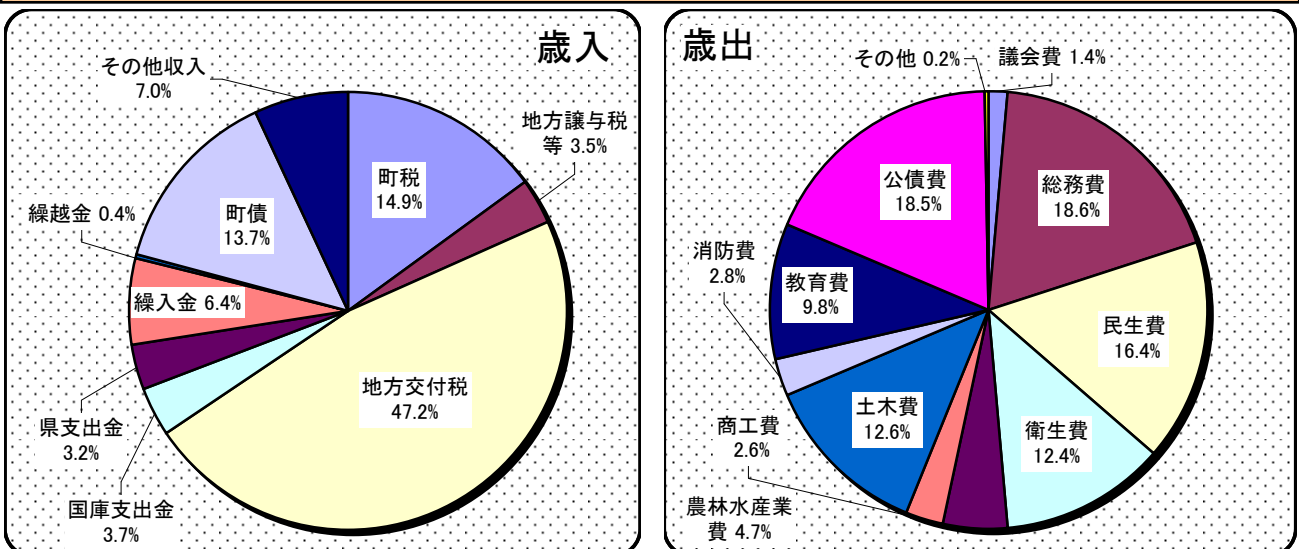
一方、普通建設事業費は、5億1547万円、構成比10.0%で、前年度（4億3042万円）に比べおよそ8505万円と伸びとなりました。

また、積立金（2億1896万円）については、新町一体感醸成基金への積立金を2億円計上したことにより、前年度（387万円）を大幅に上回り4.3%を占めることになりました。

- 歳出構成比では高い順に、公債費18.5%、人件費17.5%、補助費等（一部事務組合負担金含む）17.3%、物件費・維持補修費17.2%、繰出金11.6%となっています。



町の2008(20年度)一般会計当初予算構成比



平成20年度 一般会計 歳入

歳入区分	平成20年度 当初予算額	平成19年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)		主な増減理由・内容説明等 (金額は概算額)
					20年度	19年度	
1. 町税	763,718	751,914	11,804	101.6	14.9	15.7	法人町民税の増、固定資産税の増
2. 地方譲与税	82,450	82,500	△ 50	99.9	1.6	1.7	決算数値及び19年度見込み額等に基づく
3. 利子割交付金	2,330	4,800	△ 2,470	48.5	0.0	0.1	〃
4. 配当割交付金	2,320	1,750	570	132.6	0.0	0.0	〃
5. 株式等譲渡所得割交付金	360	600	△ 240	60.0	0.0	0.0	〃
6. 地方消費税交付金	59,190	61,100	△ 1,910	96.9	1.2	1.3	〃
7. 自動車取得税交付金	28,190	34,820	△ 6,630	81.0	0.5	0.7	〃
8. 地方特例交付金	3,021	1,681	1,340	179.7	0.1	0.0	〃
9. 地方交付税	2,420,000	2,520,000	△ 100,000	96.0	47.2	52.5	普通交付税はH19年実績から国の地方財政計画に沿って同額(23億円)とし、特別交付税は町村合併に伴う交付額の終了に伴い1億円の減の1億2000万円を見込む
10. 交通安全対策特別交付金	1,818	1,824	△ 6	99.7	0.0	0.0	反則金収入からの配分見込み(決算数値及び19年度見込み額等に基づく)
11. 分担金及び負担金	52,680	55,303	△ 2,623	95.3	1.0	1.2	CATV関係負担金491万円【皆増】、保育料負担金約3191万円【増:146万円(広域保育受託負担金増68万円含む)】、老人福祉施設入所等福祉関係負担金約1466万円【増:375万円】、学者村道路舗装負担金 皆減【減:1273万円】等
12. 使用料及び手数料	174,580	90,583	83,997	192.7	3.4	1.9	有線テレビ使用料8328万円【皆増】、高齢者生活福祉センター187万円【増:81万円】、健診使用料約1195万円【減:266万円】、住宅使用料約3388万円、ごみ処理手数料約976万円 等
13. 国庫支出金	189,960	219,832	△ 29,872	86.4	3.7	4.6	障害者自立支援給付2358万円、児童手当給付金2033万円、まちづくり交付金10320万円【増:300万円】、合併補助金2190万円【皆増】、後期高齢者医療制度創設準備事業費補助金 皆減【減:300万円】、記念物保存修理事業補助金 皆減【減:2659万円】、道整備交付金 皆減【減:1300万円】等
14. 県支出金	165,900	173,041	△ 7,141	95.9	3.2	3.6	障害者自立支援給付費1640万円、児童手当1268万円、国保基盤安定負担金486万円【減:1998万円】、後期高齢者基盤安定負担金1479万円【皆増】、福祉医療1452万円、県民税徴収事務委託金2232万円、町民憲章制定事業(合併交付金)1028万円【皆増】、中山間直接支払事業1539万円、野生鳥獣総合対策(農政)109万円【皆増】、林業機械購入補助(合併交付金)500万円、元気づくり支援金 皆減【減:307万円】等
15. 財産収入	42,846	37,797	5,049	113.4	0.8	0.8	貸付収入約802万円、基金利子収入917万円【増:530万円】、預託金返還2000万円(毎年度繰替え)等
16. 寄付金	3	3	0	100.0	0.0	0.0	科目計上のみ
17. 繰入金	326,971	264,791	62,180	123.5	6.4	5.5	基金 財調2億1000万円【増:3000万円】、減債1億円【増:3000万円】、スポーツ・文化振興基金10万円【皆増】、計3億1010万円の取崩し【増:6010万円】及び財産区繰入れ1562万円
18. 繰越金	20,000	20,000	0	100.0	0.4	0.4	H19年度からの繰越金見込み
19. 諸収入	89,320	92,161	△ 2,841	96.9	1.7	1.9	企業センター加工収入約1320万円、給食費負担金約2482万円、普通交付税中学校費分1800万円、巡回バス回数券180万円、コミュニティー助成事業240万円 等
20. 町債	704,343	385,500	318,843	182.7	13.7	8.0	地方交付税の削減振替に対応する「臨時財政対策債」1億7254万円(1006万円減)、合併特例債3億7160万円(長久保青原線、基金造成他)【増:1億8300万円】、過疎債1億6020万(原久保線、水道)【増:1億4590万円】
歳入合計	5,130,000	4,800,000	330,000	106.9	100.0	100.0	

一般会計 歳出（目的別）

（単位：千円）

区分	平成20年度 当初予算額	平成19年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)		主な増減理由・内容説明（事業費は概算で、単位は千円）
					20年度	19年度	
1. 議会費	72,617	72,406	211	100.3	1.4	1.5	職員人件費増
2. 総務費	952,950	684,189	268,761	139.3	18.6	14.3	合併3周年記念事業3,500【新】、CATV特別会計繰出金△44,388【皆減】、CATV運営事業87,873【皆増】、CATV施設整備事業30,000【新】、町民憲章等作成12,359【増:12,081】、新町一体感醸成基金造成200,000【新】、財政調整基金等利子積立9,174【増5,304】、巡回バス等JR委託99,079【増:911】、公共施設耐震診断△8,468【皆減】、徴収嘱託員報酬1,140【減:1,260】、住基ネットリース料1,817【増:1,657】等
3. 民生費	839,965	838,476	1,489	100.2	16.4	17.5	国民健康保険特別会計繰出金23,823【減:29,781】、老人保健特別会計繰出金14,248【減:66,738】、後期高齢者医療負担金80,628【増:77,962】、後期高齢者医療特別会計繰出金21,438【新】、介護保険特別会計繰出金132,143【増:2,429】、社協事務費負担金14,369、老人福祉センター指定管理委託11,706【減:442】、老人福祉施設整備事業負担金19,477【増:18,374】、老人福祉施設入所措置費25,765【増:887】等
4. 衛生費	634,909	561,053	73,856	113.2	12.4	11.7	依田窪病院負担金223,465【増:2,857】、依田窪老人保健施設28,224、妊婦乳児検診2,777【増:1,754】、依田窪病院健診委託16,485【減:4,028】、清浄園負担金31,336【増:1,701】、クリーンセンター負担金57,738【減:2,518】、ごみ処理手数料8,588【減:1,958】、ごみ収集委託17,842、水道特別会計繰出金82,468【増:81,093】等
5. 農林水産業費	239,622	281,400	△ 41,778	85.2	4.7	5.9	農業集落排水特別会計繰出金39,926【減:16,772】、野生鳥獣総合対策事業補助1,646【新】、中山間地域直払事業20,939、グリーンツーリズムパンフレット作成△7,000【皆減】、耕地応急工事15,020、植樹祭委託751【減:1,749】、森林整備促進機械5,000【増:1,450】、森林造成事業嵩上げ5,467【増:1,238】、町有林施業12,219【減:3,582】等
6. 商工費	134,900	87,724	47,176	153.8	2.6	1.8	レストハウス等土地使用料6,721【増:6,114】、活性化奨励金2,800【減:2,250】、中山道宿場会議補助5,000【新】、夏祭り・おたや祭り補助1,800【減:1,000】、まち交長久保堅町舗装整備事業38,000【新】、ふれあい・やすらぎ温泉源泉ポンプ入替工事10,118【増:4,534】、ふれあいの湯指定管理12,000、商工振興資金融資幹預託金20,000等
7. 土木費	644,331	545,884	98,447	118.0	12.6	11.4	地形図整備事業22,000【新】、まち交長久保青原線道路改良178,193【減:31,807】、道整備交付金松沢線道路改良工事△26,413【皆減】、過疎対策事業原久保連絡道路100,000【新】、町道中村線道路改良10,000【新】、公営住宅改修工事1,799【減:3,701】、河川改良事業3,000【増:1,000】、特定環境保全下水道会計繰出金240,639【増:21,535】、簡易排水会計繰出金9,500【増:2,955】等
8. 消防費	146,127	159,460	△ 13,333	91.6	2.8	3.3	上田広域消防負担金101,943【減:21,205】、小型動力ポンプ1,775、消防団被服費92【減:1,317】、退職報償金11,089、消火栓移新設負担金900、防水ハザードマップ作成4,400【新】等
9. 教育費	503,457	529,919	△ 26,462	95.0	9.8	11.0	高校通学費補助13,800【減:500】、準要保護児童生徒就学援助4,680【増:1,297】、奨学基金繰出金3,000【減:2,000】、長門小窓枠等改修工事2,000【新】、和田小パソコンリース4,491【増:3,891】、特別支援教育支援員4,575【新】、南部中組合負担金65,636【増:2,672】、和田中耐震補強工事33,962【新】、公民館長報酬1,452【新】、まち交クリーンハート和田改築工事設計委託11,500【新】、史跡和田宿本陣・永代人馬施行所改修事業△53,175【皆減】、原始古代体験館運営2,735、黒耀石展示体験館運営28,793、スポーツ・文化振興基金積立300【新】、依田窪プール負担金4,737【増:2,399】等
10. 災害復旧費	10	10	0	100.0	0.0	0.0	科目計上のみ
11. 公債費	948,320	1,028,110	△ 79,790	92.2	18.5	21.4	元金852,644、利子92,676、(地総債元利償還:△122,893、過疎債元利償還:△19,577、臨財債元利償還:25,113、合併特別債利子償還:8,714等)、一時借入金利子3,000
12. 諸支出金	720	2	718	36,000.0	0.0	0.0	公有財産購入費719【新】
13. 予備費	12,072	11,367	705	106.2	0.2	0.2	予備費
歳出合計	5,130,000	4,800,000	330,000	106.9	100.0	100.0	

一般会計 歳出（性質別）

（単位：千円）

区分	平成20年度 当初予算額	平成19年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)		主な増減理由・内容説明（事業費は概算で、単位は千円）
					20年度	19年度	
1. 人件費	895,907	897,005	△ 1,098	99.9	17.5	18.7	議員報酬等43,027、委員等報酬30,617、特別職給42,029、職員給572,592、退職組合負担金79,104 等
2. 物件費	855,670	800,594	55,076	106.9	16.7	16.7	合併3周年記念事業3,500【新】、町民憲章等作成12,359【増:12,081】、有線テレビ関係物件費35,179【皆増】、巡回バス等JR委託99,079【増:911】、公共施設耐震診断△8,468【皆減】、徴収嘱託員報酬1,140【減:1,260】、住基ネットリース料1,817【増:1,657】、グリーンツーリズムパンフレット作成△7,000【皆減】、植樹祭委託751【減:1,749】、レストハウス等土地使用料6,721【増:6,114】、ふれあいの湯指定管理12,000、消防団被服費92【減:1,317】、
3. 維持補修費	27,600	21,753	5,847	126.9	0.5	0.5	有線テレビ関係修繕7,773【皆増】、除排雪経費6812、小学校修繕1,510【増:588】、中学校修繕742【減:433】、公営住宅修繕2,610【増:1,210】 等
4. 扶助費	153,340	155,061	△ 1,721	98.9	3.0	3.3	障害者自立支援給付65,449【増:525】、地域生活支援事業4,279【減:1,252】、福祉医療費31,296【減:1,904】、児童手当給付45,600【減:480】、準要保護児童生徒就学援助4,680【増:1,297】 等
5. 補助費等	886,344	806,180	80,164	109.9	17.3	16.8	広域連合運営経費負担金8,010、広域老人福祉施設整備19,477【増:18,374】、後期高齢者医療負担金80,628【増:77,962】、依田窪病院負担金223,465【増:2,857】、広域斎場負担金6,033、清浄園負担金31,336【増:1,701】、クリーンセンター負担金57,738【減:2,518】、上田広域消防負担金101,943【減:21,205】、南部中組合負担金65,636【増:2,672】、依田窪プール負担金4,737【増:2,399】、社協負担金14,369、出生祝金2,670、中山間直接支払20,522、経営改善事業補助10,800、活性化奨励金2,800【減:2,250】、中山道宿場会議補助5,000【新】、夏祭り・おたや祭り補助1,800【減:1,000】、高校通学費補助13,800【減:500】 等
6. 公債費	948,320	1,028,110	△ 79,790	92.2	18.5	21.4	元金852,644、利子92,676、一時借入金利子3,000、(地総債元利償還 △122,893、過疎債元利償還 △19,577、臨財債元利償還 25,113、合併特別債利子償還 8,714 等)
7. 積立金	218,956	3,871	215,085	5,656.3	4.3	0.1	新町一体感醸成基金造成200,000【新】、財政調整基金等利子積立9,174【増5,304】、スポーツ・文化振興基金積立300【新】、有線放送施設9,481
8. 投資出資貸付金	20,900	20,000	900	104.5	0.4	0.4	商工振興資金融資あっせん預託金 20,000、公営企業金融機構設立出資 900【新】
9. 繰出金	595,410	625,630	△ 30,220	95.2	11.7	13.0	国民健康保険特別会計繰出金23,823【減:29,781】、老人保健特別会計繰出金14,248【減:66,737】、後期高齢者医療特別会計繰出金21,438【新】、介護保険特別会計繰出金132,143【増:2,429】、依田窪老人保健施設28,224、水道特別会計繰出金82,468【増:81,093】、農業集落排水特別会計繰出金39,926【減:16,772】、特定環境保全下水道繰出金240,639【増:21,535】、簡易排水特別会計9,500【増:2,955】、CATV等別会計繰出金△44,388【皆減】
10. 普通建設事業費	515,471	430,419	85,052	119.8	10.0	9.0	耕地応急工事15,020、まち交長久保堅町舗装整備事業38,000【新】、ふれあい・やすらぎ温泉源泉ポンプ入替工事10,118【増:4,534】、まち交長久保青原線道路改良178,193【減:31,807】、道整備交付金松沢線道路改良工事△26,413【皆減】、過疎対策事業原久保連絡道路100,000【新】、町道中村線道路改良10,000【新】、公営住宅改修工事1,799【減:3,701】、和田中耐震補強工事33,962【新】、まち交クリーンハート和田改築工事設計委託11,500【新】 等
11. 災害復旧事業費	10	10	0	100.0	0.0	0.0	科目計上のみ
予備費	12,072	11,367	705	106.2	0.2	0.2	予備費
歳出合計	5,130,000	4,800,000	330,000	106.9	100.0	100.0	

平成20年度長和町特別会計予算の概要

地域振興特別会計及びケーブルテレビ施設特別会計を廃止し、後期高齢者医療特別会計を新たに設置したことにより、11の特別会計となり、特別会計全体で、総額32億6575万6千円としました。前年に比べ（39億3328万9千円）、6億6753万3千円（17.0%）の減となりました。

1 特定環境公共下水道事業特別会計 6億4500万円（6億3700万円：800万円の増）

まちづくり交付金事業として、前年度から取り組んでいる特定環境保全公共下水道と農業集落排水との統合により、長門水処理センターにおいて一括処理するための下水道管の連結工事の完了を見込みます。平成20年度の事業費は2億円（財源は交付金8千万円、公営企業債5400万円、合併特例債5400万円、一般財源1200万円）を計上しました。

その他、維持関係経費、長期借入金の償還費が主な内容です。また資本費平準化債の借り入れにより一般会計からの繰入金を抑えるとともに償還の均衡化を図っています。

2 簡易排水施設特別会計 1390万円（1130万円：260万円の増）

大門小茂谷地区と古町滝ノ沢地区の下水処理及び合併浄化槽による整備区域に係る事業会計であり、国庫補助を伴っての合併浄化槽に対する補助金交付のほかは、維持管理経費が主であります。

3 農業集落排水事業特別会計 1億3千万円（1億4720万円：1720万円の減）

和田地区の下排水に係る事業会計であり、施設の管理運営と長期借入金の償還費が主な内容です。

なお、資本費平準化債の借り入れにより一般会計からの繰入金を抑えるとともに償還の均衡化を図っています。

4 水道特別会計 6億2千万円（4億200万円：2億1800万円の増）

前年度に比べて大幅な増額の要因は、公的資金補償金免除繰上償還に係る簡易水道事業債のうち、補償金免除が認められた年利6%以上7%未満に係る繰上償還に伴う借換債を3億円計上したことによるもので、この借換により概ね7千万円の軽減となります。

和田地区水道の配水地等の計装設備を整備するため、和田簡易水道基幹改良工事を1億1800万円（公営企業債5850万円、過疎債5850万円、一般財源100万円）を計上しました。

その他、まちづくり交付金事業により大門簡水と古町簡水の統合工事、上水道施設の管理運営に要する費用、維持補修工事費、長期借入金の償還費が主な内容です。

なお、平成17年度から3年計画で実施してきた学者村簡易水道改良工事は完了となりました。

5 観光施設事業特別会計 1億4千万円（1億3500万円：500万円の増）

直営別荘地の管理運営等に関する事業会計であり、維持管理経費のほか水道特別会計への簡易水道事業債の償還に対する経費等の繰出金が主な内容です。

なお、学者村簡易水道改良工事が完了したことに伴い、水道台帳システム作成業務や将来に向けた水道料金の見直しを計画しています。

6 国民健康保険特別会計 7億2904万7千円（6億8880万円：4024万7千円の増）

療養給付費、療養費及び高額療養費の給付の増額を見込みました。後期高齢者医療制度の導入により、65歳以上75歳未満の退職被保険者が一般被保険者へ移行し、一般被保険者分が増額、退職被保険者分が減額となりました。また、同制度の導入により、老人保健医療費・事務費拠出金の減額を見込み、新たに後期高齢者支援金を見込みました。

このほか、介護給付費納付金、出産育児一時金・葬祭費支給事業、総合保健事業等が主な内容です。

なお、葬祭費については、後期高齢者医療制度及び近隣市町村の状況を勘案して、1万8千円から5万円へ引き上げを行います。

7 老人保健特別会計 1億5946万4千円（9億5134万8千円：7億9188万4千円の減）

老人保健制度は、平成20年度から施行される後期高齢者医療制度の創設により、平成22年度までで終了となる見込みで、平成20年度は医療費の2か月分を計上しました。

8 後期高齢者医療特別会計 5850万1千円（皆増）

高齢者の医療の確保に関する法律の施行により、後期高齢者医療制度が創設されたことに伴い、市町村は後期高齢者医療に関する収入及び支出について、政令の定めるところにより、特別会計を設けなければならないと定められており、平成20年度から当特別会計を設置するものであります。

長野県後期高齢者医療広域連合への納付金が主なものです。

9 住宅新築資金等貸付特別会計 506万3千円（530万6千円：24万3千円の減）

新規の貸付け事業はなく、資金長期借入金の償還費が主なものです。

10 国民健康保険歯科診療所特別会計 2556万円（3182万4千円：626万4千円の減）

歯科医師への報酬支払いのための会計です。

11 介護保険特別会計 7億3922万1千円（7億7549万1千円：3627万円の減）

介護に係る保険給付や地域支援事業などが主な内容です。

■ 地域振興特別会計 皆減（2346万1千円の減）

ブランシュたかやまスキー場に係る事業資金の長期借入金の償還費が終了したことにより特別会計を廃止するもので、敷地料支払い事務については一般会計の商工費で継承するものです。

■ ケーブルテレビ施設特別会計 皆減（1億2455万9千円の減）

平成18年度から事務事業の明確化を図るため、特別会計として運営を進めてきましたが、特別会計で事業を運営することにより、新たに発生する経費の増を回避するため、一般会計へ事務事業を移行し運営を継続するものであります。

なお、ケーブルテレビの運営経費については一般会計の款「総務費」、項「ケーブルテレビ施設運営費」で事業の明確化を図るものです。

平成20年度 特別会計 予算の内訳

(単位：千円)

区 分	20年度	19年度	比較増減	伸び率	備考
1. 特環下水道事業会計	645,000	637,000	8,000	1.013	
内訳					
管理事業	66,275	58,484	7,791	1.133	
まちづくり交付金事業 新設管渠工事	200,915	194,000	6,915	1.036	下水道統合（町単分含む）
公債費	348,085	357,855	△ 9,770	0.973	
その他（人件費等）	27,372	23,729	3,643	1.154	3名：21,129
予備費	2,353	2,932	△ 579	0.803	繰出額 240,639
2. 簡易排水施設会計	13,900	11,300	2,600	1.230	
内訳					
管理事業	6,691	4,260	2,431	1.571	滝ノ沢汚泥処分の増
建設費 浄化槽整備等	5,148	5,048	100	1.020	
公債費	1,981	1,795	186	1.104	
予備費	80	197	△ 117	0.406	繰出額 9,500
3. 農業集落排水事業会計	130,000	147,200	△ 17,200	0.883	
内訳					
一般管理費等	277	365	△ 88	0.759	
施設維持管理費	29,978	28,920	1,058	1.037	消費税の増
施設建設費（補助金含む）	4,552	5,602	△ 1,050	0.813	
公債費	93,947	100,977	△ 7,030	0.930	
その他（人件費等）	1	10,316	△ 10,315	0.000	人件費なし
予備費	1,245	1,020	225	1.221	繰出額 39,926
4. 水道会計	620,000	402,000	218,000	1.542	
内訳					
一般・維持管理事業	22,772	20,109	2,663	1.132	臨時職員1名
積立金	0	1	△ 1	皆減	
施設維持管理費	28,022	36,453	△ 8,431	0.769	
建設事業（学者村水道改良）	0	147,583	△ 147,583	皆減	
まちづくり交付金事業 簡易水道統合工事	25,000	93,000	△ 68,000	0.269	
和田簡易水道改良工事	126,500	0	126,500	皆増	久保水源改修工事含む
公債費	409,616	93,795	315,821	4.367	高利率繰上償還含む
その他（人件費等）	6,895	8,215	△ 1,320	0.839	1名：6,894
予備費	1,195	2,844	△ 1,649	0.420	繰出額 82,468
5. 観光施設事業会計	140,000	135,000	5,000	1.037	
内訳					
直営別荘地管理事業	7,787	3,593	4,194	2.167	公用車・消費税の増
美ヶ原高原別荘管理事業	2,400	2,300	100	1.043	
水道会計繰出金（学者村水道改良分）	16,631	20,841	△ 4,210	0.798	
観光施設管理事業（国有林借地料他）	3,590	4,007	△ 417	0.896	
学者村別荘地管理事業	59,904	51,802	8,102	1.156	臨時職員3名
美し松別荘地管理事業	23,762	21,687	2,075	1.096	臨時職員1名
ふれあいの郷別荘管理事業	5,195	5,226	△ 31	0.994	臨時職員1名
別荘地改良事業（応急工事）	3,501	5,001	△ 1,500	0.700	
その他（人件費等）	13,430	19,143	△ 5,713	0.702	2名：13,430
予備費	3,800	1,400	2,400	2.714	繰出額 0

平成20年度 特別会計 予算の内訳

(単位：千円)

区分	20年度	19年度	比較増減	伸び率	備考
6. 国民健康保険会計	729,047	688,800	40,247	1.058	
内訳					
一般療養給付費給付事業	380,518	254,373	126,145	1.496	療養費・高額療養費含む
退職者療養給付費給付事業	77,967	161,921	△ 83,954	0.482	療養費・高額療養費含む
出産育児一時金、葬祭費	3,350	4,230	△ 880	0.792	
後期高齢者支援金・事務費拠出金	84,214	0	84,214	皆増	
前期高齢者納付金・事務費拠出金	207	0	207	皆増	
老人保健医療費・事務費拠出金	17,725	111,818	△ 94,093	0.159	
介護給付費納付金	38,336	44,025	△ 5,689	0.871	
高額医療費拠出金	11,298	11,239	59	1.005	
保健事業費	6,970	2,630	4,340	2.650	
保険財政共同安定化事業拠出金	66,439	65,420	1,019	1.016	
直診施設繰出	4,200	2,170	2,030	1.935	
人件費分	13,153	14,033	△ 880	0.937	2名：13,153
その他	8,068	12,735	△ 4,667	0.634	
予備費	16,602	4,206	12,396	3.947	繰出額 23,823
7. 老人保健会計	159,464	951,348	△ 791,884	0.168	
内訳					
医療費給付・医療費支給	156,550	939,211	△ 782,661	0.167	2ヵ月分
高額医療費	1,200	6,186	△ 4,986	0.194	
審査支払手数料	571	3,424	△ 2,853	0.167	
その他	643	1,847	△ 1,204	0.348	
予備費	500	680	△ 180	0.735	繰出額 14,248
8. 後期高齢者医療会計	58,501	0	58,501	皆増	
内訳					
一般管理費	1,217	0	1,217	皆増	
広域連合納付金	56,771	0	56,771	皆増	
繰出金	1	0	1	皆増	
予備費	512	0	512	皆増	繰出額 21,438
9. 住宅資金等貸付会計	5,063	5,306	△ 243	0.954	
内訳					
貸付金	0	0	0	0.000	
公債費	4,815	5,267	△ 452	0.914	
その他	49	38	11	1.289	
予備費	199	1	198	199.000	繰出額 1
10. 国保歯科診療所事業会計	25,560	31,824	△ 6,264	0.803	
内訳					
医師報酬	25,560	31,824	△ 6,264	0.803	繰出額 0
11. 介護保険会計	739,221	775,491	△ 36,270	0.953	
内訳					
総務管理費	16,486	24,471	△ 7,985	0.674	認定審査会委託の減
保険給付費	676,177	708,047	△ 31,870	0.955	
財政安定化基金拠出金	756	756	0	1.000	
地域支援事業	26,107	24,197	1,910	1.079	
公債費	6,136	6,136	0	1.000	
その他(人件費等)	12,559	10,884	1,675	1.154	2名：12,456
予備費	1,000	1,000	0	1.000	繰出額 132,143
地域振興会計	0	23,461	△ 23,461	皆減	廃止
ケーブルテレビ施設会計	0	124,559	△ 124,559	皆減	廃止
特別会計合計	3,265,756	3,933,289	△ 667,533	0.830	職員：10名 繰出金：564,186千円

平成20年度の主な事業

◎一般会計

■新規事業

○ 合併3周年記念事業	350 万円	
○ 地区集会施設告知放送設備設置事業	53 万円	
○ 公営住宅火災報知機取付事業	98 万円	
○ 消防小型ポンプ購入事業	178 万円	
○ 洪水ハザードマップ作成事業	440 万円	
○ 新町一体感醸成基金積立	20,000 万円	(2億円)
○ 町民憲章等作成事業	1,236 万円	
○ 情報基盤施設整備事業	3,000 万円	
○ 中山道宿場会議長和町大会補助	500 万円	
○ ふれあいの湯源泉ポンプ入替事業	611 万円	
○ 原・久保連絡道路改良舗装事業	10,000 万円	(1億円)
○ 地形図整備事業	2,200 万円	
○ 橋梁点検事業	100 万円	
○ 体育施設 A E D 設置事業	22 万円	
○ 長門町民体育館前ポーチ修繕工事	100 万円	
○ スポーツ・文化振興基金設立	30 万円	
○ 和田中学校耐震補強工事	3,396 万円	
○ わかば保育園耐震補強工事	517 万円	
○ 和田保育園支援保育士配置事業	265 万円	
○ 小中学校特別支援教育支援員配置事業	458 万円	
○ 長門小学校窓枠等改修工事	200 万円	
○ 小学校漢字検定受験料助成事業	32 万円	
○ 校歌管楽器用編曲事業	10 万円	
○ ふるさとアーカイブス創生事業	1,150 万円	

■継続事業

○ 町内巡回バス等運行事業	9,908 万円	
○ 町勢要覧作成事業	231 万円	
○ 町民手づくり事業	200 万円	
○ 公的ネットワーク事業	320 万円	
○ 生ごみ堆肥化機器購入助成事業	120 万円	
○ 出生祝金給付事業	267 万円	
○ 福祉医療費給付事業（小学校低学年まで）	290 万円	
○ 妊婦・乳児健康診査事業	200 万円	
○ 長久保宿堅町整備舗装事業	3,800 万円	
○ 町道長久保青原線道路改良事業	17,819 万円	(1億7819万円)
○ 保育園加配保育士設置事業	462 万円	
○ 心の相談員設置事業	142 万円	
○ 高等学校通学等補助事業	1,380 万円	

◎特別会計

○ 和田簡易水道基幹改良工事（新）	11,800 万円	(1億1800万円)
○ 大門・古町簡易水道統合工事（継続）	2,500 万円	
○ 下水道統合事業（継続）	20,000 万円	(2億円)